

関係各位



センチュリー・システムズ株式会社
代表取締役 田中 邁

多種多様なセンサ情報をクラウドで一括監視が可能に！ WarpLink M2M クラウドの提供

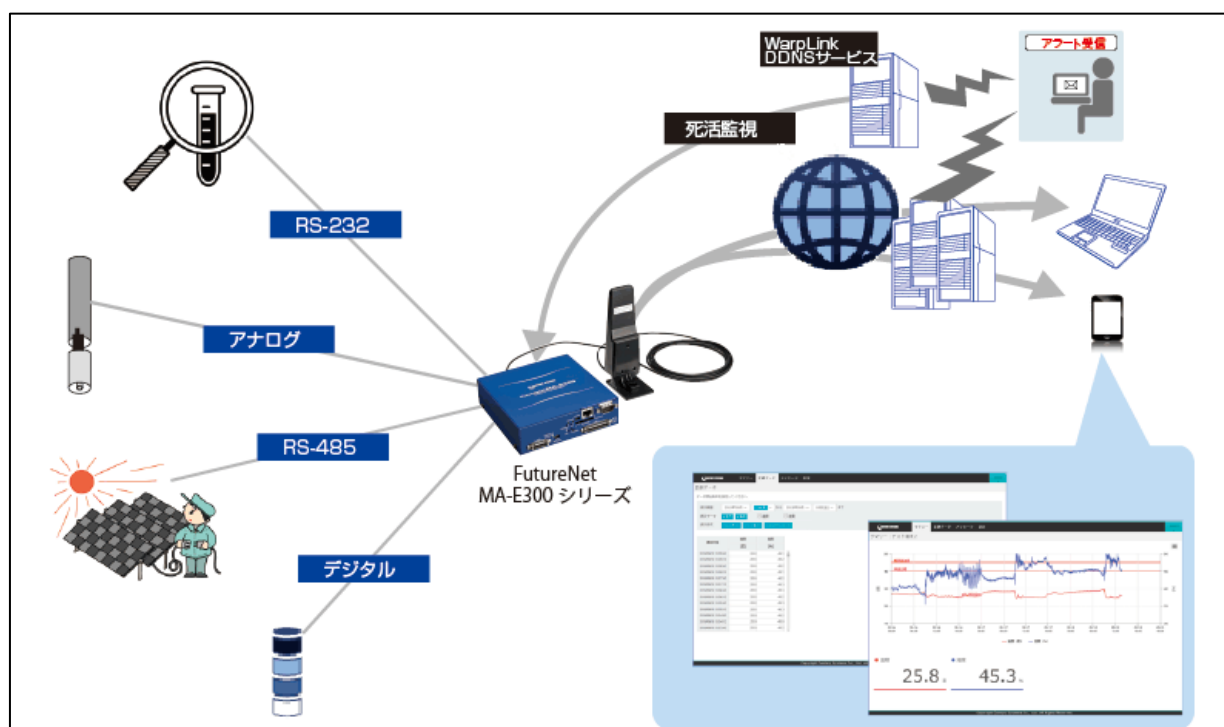
センチュリー・システムズ株式会社(本社:東京都武蔵野市、代表取締役:田中邁、以下:センチュリー・システムズ)は、WarpLink シリーズに多種多様なセンサ情報をクラウドで一括監視を可能とする WarpLink M2M クラウドを追加し、2015年11月より提供します。

WarpLink M2M クラウドは、利用者が取得したい情報(もしくは、センサ)をご指定頂くだけで、容易かつスピーディにシステム化し、クラウド上で遠隔監視が実現できます。

センサの情報は、当社 Linux マイクロアプライアンスサーバに一旦集約され、モバイル(3G/LTE)を介して、クラウド上に蓄積することができます。蓄積したデータは、PC、タブレット、スマートフォンから WEB ブラウザにより直感的に確認しやすい時系列グラフで、24時間いつでも簡単に確認することができ、CSV形式のファイルとしてダウンロードしてご活用頂く事も可能です。

また、予め設定した「しきい値」を超過した場合、メールなどの「アラート」を出力することもでき、異常・問題が発生した際にも、いち早く対応できます。

各種センサに対応できるよう、当社 Linux マイクロアプライアンスサーバ FutureNet MA-E300 シリーズは豊富なインターフェースとライナップを取り揃えています。



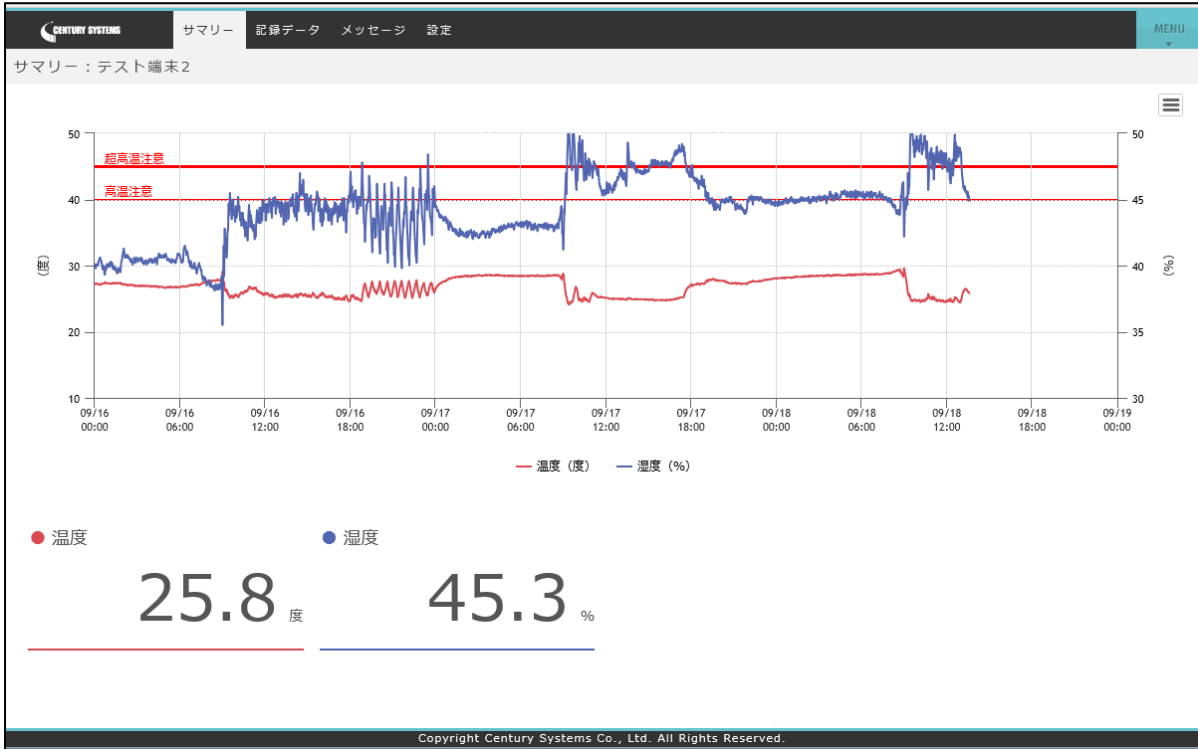
【図 1 WarpLink M2M クラウドの機能概要図】

WarpLink M2M クラウドの特長

■ 短期間・低コストでクラウド化が可能

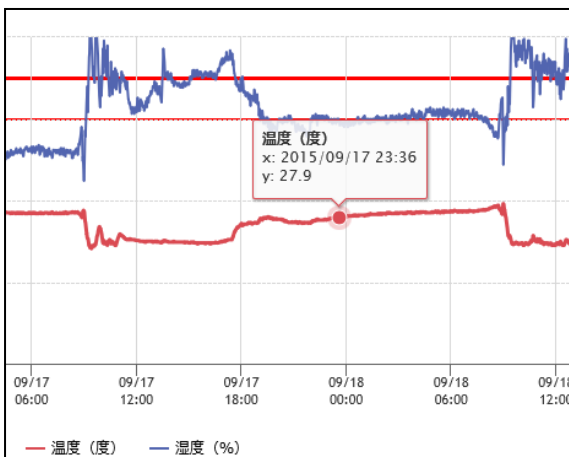
WarpLink M2M クラウドは、利用者が取得したい情報(もしくは、センサ)をご指定頂くだけで、容易かつスピーディにシステム化し、クラウド上で遠隔監視が実現できます。

センサ情報を監視するのに必要なテンプレートを予め準備してあります。

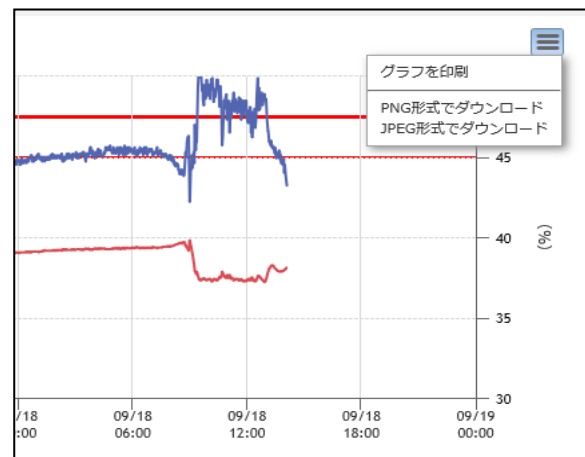


【図 2 サマリー画面】

PC、タブレット、スマートフォンからWEBブラウザにより直感的に確認しやすい時系列グラフで、24時間いつでも簡単に確認することができます。



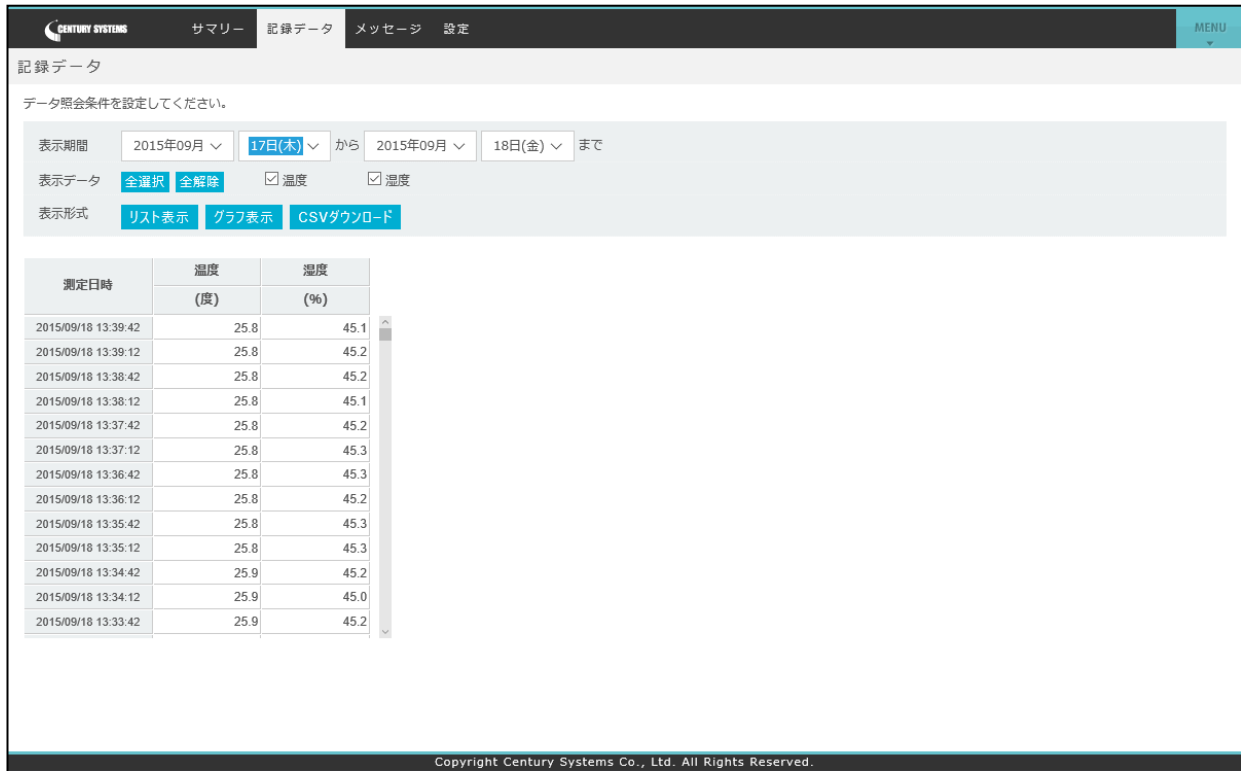
【図 3 ポイントデータ表示】



【図 4 グラフの印刷・ダウンロード】

グラフの座標にカーソルを合せば、ポイントデータを表示する機能(図 3)や、表示されているグラフの印刷、イメージデータとしてダウンロードする機能(図 4)も標準提供しています。

また、記録されている過去データを期間と種別を選択して、リスト、グラフとして画面に表示、CSV 形式のファイルとしてダウンロードしてご活用頂く事も可能です。



【図 5 記録データ操作画面】

■ 簡単な操作で様々な設定が可能

WarpLink M2M クラウドは、お好みに合わせて画面の表示を変更や、警戒レベル、警戒レベルに達した時のアクションなどを利用者が簡単に設定できる画面を準備しています。



【図 6 設定画面】

| 設定項目 | 設定内容 |
|-------------|---|
| 画面表示設定 | サマリー画面などで表示されるグラフデータのカラーや項目の表示／非表示を切り替えます。 |
| サイト設定 | メールの送信元アドレスを設定します。 |
| 警戒レベル設定 | 端末の入力インターフェース毎の警戒レベルを設定します。 |
| 警戒線イベント設定 | 警戒レベルの超過(またはレベル超過解除)毎にメール送信などのイベントを設定します。 |
| メッセージイベント設定 | イベント発生時に送信されるメールのメッセージを編集します。最大 64 パターンまで設定ができます。 |
| 仮想データ項目設定 | 端末から受信したデータに対し各種演算を行い、データを拡張することができます。 |
| データリンク設定 | データ送信端末のネットワーク設定、認証情報の設定、シフト値・重み値の設定を行います。 |

【表 1 設定項目一覧】

画面表示設定では、画面表示する項目を選択や、グラフのタイプや色、表示期間などを設定することができます。



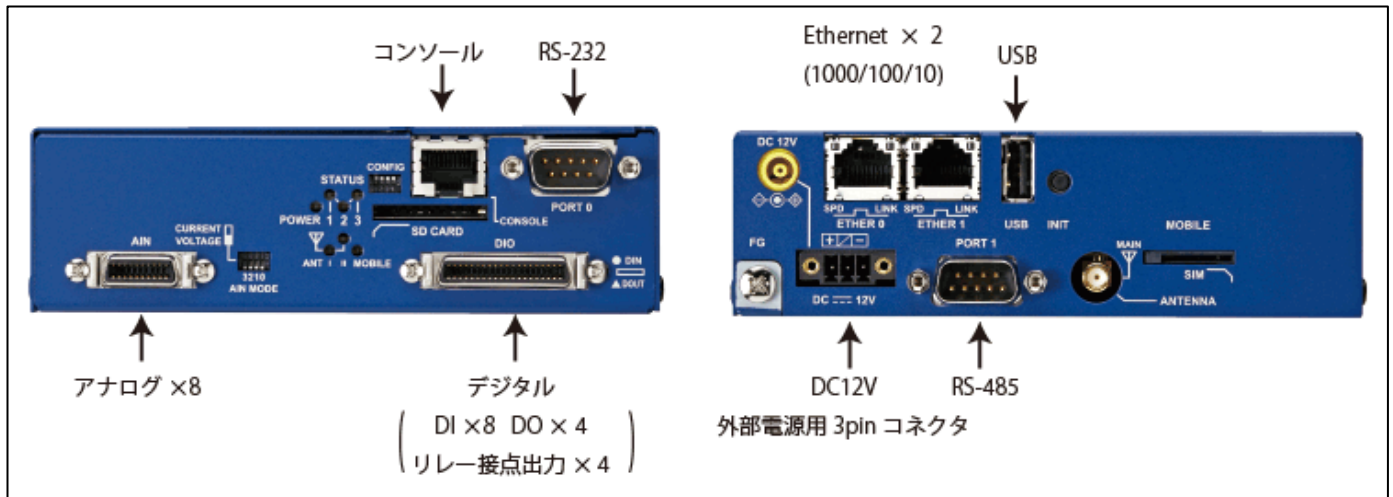
【図 7 設定画面】

■ 多種多様なセンサに対応

多種多様なセンサに対応できるように Linux マイクロアプライアンスサーバ FutureNet MA-E300 シリーズは、豊富なインターフェースとライナップを取り揃えています。

気象計や水位計などで多く用いられるアナログインターフェース、電力監視のスタンダードである Modbus/RTS の RS-485、ギガビットイーサネットも 2 ポート有しているのので、Modbus/TCP にも対応できます。

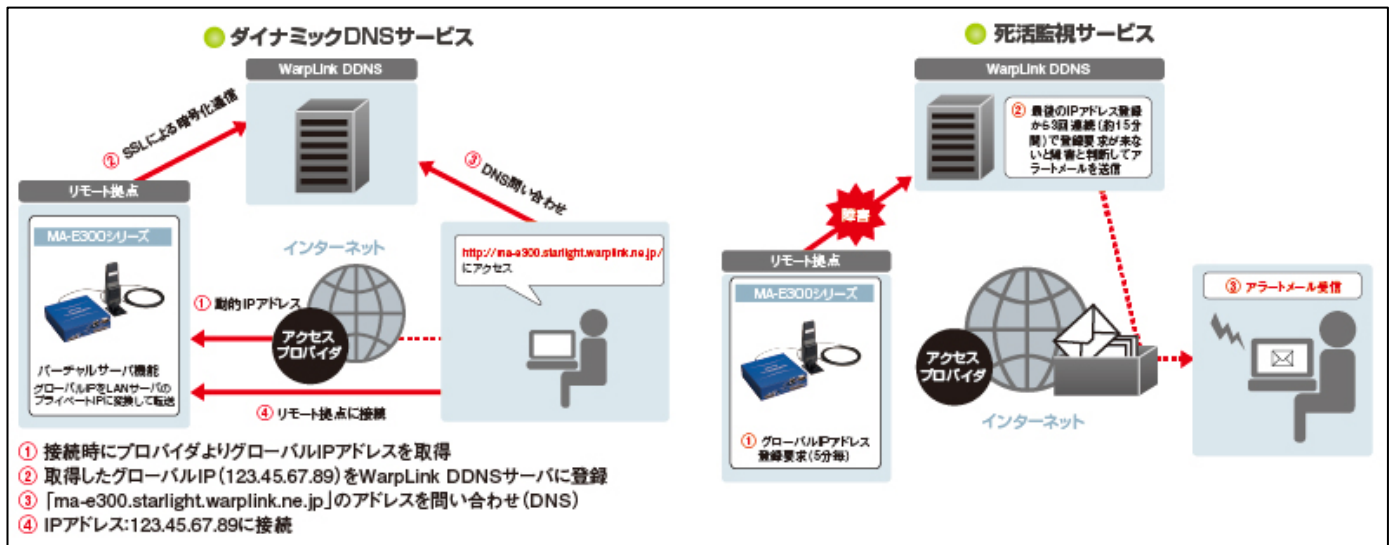
更には、ひずみ計などに用いられる RS-232、接点監視・制御に対応できるようにデジタルインターフェース（絶縁型接点入出力ポート:DI×8ch、DO×4ch、フォト MOS リレー出力×4ch）を装備し、そのほかにも RS-232、USB 接続等にも対応しています。



【図 8 FutureNet MA-E350/NAD のインターフェース】

■ WarpLink DDNS サービスによる機器監視

センサに接続する FutureNet MA-E300 シリーズは、ネットワーク運用管理サービス WarpLink DDNS サービスで 死活監視なども出来ますので、遠隔機器の状態を把握できます。



【図 9 WarpLink DDNS サービスの概要】



/// 価格、販売等 ///

WarpLink M2M クラウド

価格：オープンプライス

特長：多種多様なセンサ情報をクラウドで一括監視可能なシステムを短期間・低コストで提供

販売開始：2015年11月

/// センチュリー・システムズ株式会社について ///

センチュリー・システムズは、エンタープライズから組み込み、IoT/M2M システム開発などネットワーク分野を中心に、ハードとソフトの開発をおこなう開発会社です。FutureNet®ブランドでの自社製品の提供を中心として、製品のカスタマイズや新規開発を含む受託開発、OEM 提供、ASP・クラウドサービス (WarpLink®)の提供をおこなっています。受託開発では M2M、センサネットワーク、遠隔監視制御、高信頼ネットワーク、専用ゲートウェイなどの装置/システム開発や通信プロトコルのライセンス提供などで幅広い実績を持っています。

- ・会社名 : センチュリー・システムズ株式会社
- ・所在地 : 東京都武蔵野市境 1-15-14
- ・代表者 : 代表取締役 田中 邁
- ・事業内容: ネットワーク製品ブランド FutureNet シリーズの開発・販売、製品のカスタマイズ、OEM 提供、IoT/M2M システム開発、受託開発、コンサルティング、ASP・クラウドサービス

● お問い合わせ先

WarpLink M2M クラウドに関するご質問、お問い合わせは弊社営業部までお願いします。

なお、ニュースリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。

電話 0422-37-8112

FAX 0422-55-3373

電子メール press-release@centurysys.co.jp ホームページ <http://www.centurysys.co.jp/>

以上、新製品の紹介とさせていただきます。何卒よろしくお取り計らいの程、お願い申し上げます。

・「FutureNet」、「WarpLink」はセンチュリー・システムズ株式会社の登録商標です。
・その他、文中の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標、サービス名称です。